



▶ 栃木県那須烏山市

伝統と誇りを受け継ぐ まちづくり

那須烏山市では、毎年7月に日本一の移動式野外劇と言われ、450年以上もの歴史を持つ「山あげ祭」が行われます。その祭りの核となる「烏山の山あげ行事」は、平成28年には全国32の祭礼行事とともにユネスコ無形文化遺産に登録され、今後の活動にも期待が寄せられています。

一方で、祭りを運営する後継者や踊り子・常磐津の担い手不足が課題となっています。そのため、本市では、この伝統と誇りある「山あげ祭」を守り、後世に遺していくために、ふるさと納税の一部を

「烏山山あげ保存会」へ助成し、伝統芸能や地域文化の伝承、担い手の育成を側面的に支援しています。

寄附者には、お礼状を贈る際にパンフレットを同封し、「山あげ祭」について周知しています。



野外で大迫力の舞台を背に本格的な歌舞伎劇が披露されます



山あげ祭の舞台で踊る踊り子の練習風景

注力した点や工夫した点

ユネスコ無形文化遺産に登録されたことを機に、市のウェブサイト内の特設サイトを更に充実させるなど「山あげ祭」の知名度の向上に努めています。

Check

取組の効果

ふるさと納税の一部を「山あげ祭」の運営費に充てることで、情報誌や特設サイトを活用した情報発信を強化することが出来ました。

また、初めての試みとして、「山あげ祭」当日に特設ステージにおいて県内ラジオ局の特別番組を生放送し、会場の様子を市外に広く伝えました。

こうしたことにより、平成29年の来場者は昨年より2万人増の12万人となり、大いに賑わいを見せました。



山あげ祭当日のラジオの生放送の様子



寄附者の方にお送りしているパンフレット

寄附者の声



・幼いころから何度も訪れている「山あげ祭」の今後の発展にぜひ協力したいと思います。

住民の声



・ふるさと納税のおかげで、課題であったイートスペースの拡充、駐車場の確保など、おもてなし対策を充実することができました。(山あげ祭実行委員会委員長)